

### \*\*\*事業計画・予算（平成20年度）を承認……総会\*\*\*

4月27日、平成20年度総会が開かれました。

昨年度の事業報告・決算に引続き、本年度の事業計画ならびに予算が承認され、又任期満了にともなう役員の変更が行われて、平成20年度のスタートを切ることとなりました。

昨年度は10周年記念として色々の記念行事が行われましたが、本年は特に目玉となる事業はありませんが、その中でも、日本語ボランティア養成講座が昨年と同様に実施されること、外国語講座が2講座増加し計6講座となること、さらにフレンドシップサロンとして去年の「タイ王国紹介」サロンが好評を得たことから今年も同じようなものを計画していること等が目につく行事となっています。

役員の変更では、第2代会長として7年間の長きにわたって会長職を勤めていただいた中田秀雄氏が退任され、新しい会長に松村芳郎氏が就任することになりました。

## 野田市国際交流協会

Noda International Association



### \*\*\*新体制 決まる\*\*\*

総会で役員の変更が行われ、又各部会の人事も決まり、平成20年度の新体制は、次の通りとなりました。

役員	部会	部長	副部長
会長 松村 芳郎	総務部	東原 聖二	村田 三枝
副会長 村田 三枝、小川 好江	イベント部	山本 武夫	酒井 幸子
事務局長 東原 聖二	外国語講座部	松村 芳郎	青戸 貞愛
会計 根本 正宣、下川原 澄子	日本語学習部	大塚 三保子	根本 正宣、下川 明男
書記 森本 耕司、渋井 猛	友好交流部	森本 耕司	持田 ソムシー
監事 高木 次雄、檜山 よし江			

## \*\*\* 会長退任の挨拶 \*\*\*

前会長 中田 秀雄



2008年4月27日をもって会長を退任しました。皆様には、長期に渡り支援を頂き多くのことを学ばせて頂き感謝申し上げます。

入会は初代会長との出会いでNPO法人法が制定された1998年に研修部に、その後、日本語教室の副部長と会計を経験させて頂き、ご迷惑をかけながらも楽しい活動をさせて頂きました。そして同時多発テロが発生した2001年に、候補者の中で上位二人が辞退された為に選任された三等会長でした。

仕事は電機会社（工場と国際事業部）及び総合商社（発電所技術）を Engineer（職人）、Project Manager（国際出稼）として勤めました。心情は空手訓の「空手に先手無し」で、工場では「Engineer は先ず職人であれ」、国際事業部では「売るのでなく、買って頂くのだ」を学びました。

工場では主に海外での技術の習得、国際事業部では大

形火力・原子力発電関連のプロジェクトを外国人と共に入札、折衝、基本設計、建設に従事し、数件のターンキー契約を含め数多く発電・変電機器等を北米、中近東やアジア等に納入しました。そして入会後の海外活動の一部を Fanfare 第6と11号に紹介させて頂きました。

ボランティア団体の会長は数年位で交替するべきとのものでしたので、より良き引継を行える様に運営委員会の議長を事務局長にお願いしました。

旅客機に例えれば、退任 3~4年前に着陸方位を定め減速してフラップを下げ出しました。そこで、理事会で後継者の提案を募りましたが、希望者もいた様でしたが、具体的な提案がなく、又 2年先に十周年記念行事が目前になり、フルフラップの状態でも前期まで継続してしまいました。フルフラップでの飛行は失速しない様によりエンジンの Power-up が必要で、とても不安定で最も操縦の難しい時期でした。離陸時には、砂利敷きの滑走路からの離陸した様な気持でしたが、今は滑走路も舗装されたかと思えます。そして多くの国際人を乗せた旅客機が自由に離発着の出来るような立派な滑走路にして国際交流の推進をお願いしましてご挨拶とさせて頂きます。

## \*\*\* 会長就任の挨拶 \*\*\*

会長 松村 芳郎



当協会にとって、平成 19 年度は創立 10 周年の節目の年でした。前任で、満 7 年に亘り務めて頂き、NIA 発展に尽くされた中田会長他諸先輩のご努力が、会員数約 200 名に及ぶ今日の活況を築き上げられたものと感謝しております。今回選任頂いた私は、2 期 4 年間副会長を務めた間に体得した経験を生かし、努力を重ねる所存です。

さて、わが国の国際交流活動は、その黎明期において外国の友好都市との交流から始まりました。一方、当

野田市においては、外国人市民への日本語教育を柱として日本人の子供達への国際理解教育、留学生達へのホームビジット企画、相互に文化を紹介するイベント等、より生活支援色の強い活動を展開して参りました。今後もこの路線を継承し、行政や商工業法人等との連携を図り、今後増加が予想される外国人市民への支援、日本人市民の国際感覚向上を使命とする協会の基本方針を、より具体的に充実させて行く事をお約束いたします。

また、この種の活動は、ボランティア会員、外国人の皆さんが、相互に楽しむことが必要です。

NIA に関わる皆さんが、暖かい満足感に包まれ、充実した活動が続けられる、そんな環境を作り上げることを目標に、微力を注ぐ覚悟でありますので、宜しくご協力下さいます様、お願い申し上げます。

## \*\*\* 平成20年度 スタートにあたって\*\*\*

### 総務部

部長 東原 聖二

総務部が今まで取り組んできた仕事は、

- ① 機関紙「ファンファーレ」年3回の発行
  - ② 同じく「ミニ通信」年6回の発行
  - ③ ホームページの更新
  - ④ 他団体主催行事に、協会のPR用写真展の出展などの広報関係の仕事が主なものとなっています。これらに対する現状の課題点は、次の3項目が大きな点としてあげられます。
- ① 機関紙「ファンファーレ」「ミニ通信」の内容がマンネリ化している点
  - ② ホームページの英文サイトの充実化がおくれている点
  - ③ これらに取り組むにあたって、総務部員の数

### イベント部

部長 山本 武夫

昨年に引き続きイベント部を担当しますので、よろしく願いいたします。

イベント部は総会資料に記載されている事業をイベント部員と会員の皆様のご協力をいただき実施していきたいと考えています。

昨年は2つの新しい講座を開催しましたが、好評であったので、本年度も引き続き開催します。それに加えて又新しい企画「MY ゆかたをつくりましょう」講座を計画実行する予定ですが何名の応募があるか、心配しています。

取り敢えず実行して様子を見る予定です。

毎回満席で抽選になる外国料理教室は、お願いする講師の方の都合により日程の調整が大変なので、回数を増やすことが出来ないのが残念です。

毎年恒例行事である「もちつき大会」は用具等ご支援していただいているご協力者がおられるので、非常にありがたく紙面をお借りしてお礼申し上げます。

最後に8月2日(土)午後7時から行われる野田夏まつり躍り七夕パレードに今年も会員の皆様一人でも多くのご参加ご協力をお願いします。この原稿を書いている時点ではまだ集合場所等決定していないので、後日お知らせします。

なすぎるという点(現在4名)

特に③項の部員が少ないということが、①項の機関紙のマンネリ化や②項のホームページ英文サイトの問題につながっています。

こういう課題をかかえている中、新しい仕事が増えそうです。それは、今まで事務局(市の企画調整課)が行っていた仕事を協会側に移管しようという方向が打ち出されたことによるもので、さしあたって総務部に加わる仕事は総会資料の作成と配付ですが、今後、さらにふえてくるものと思われます。

こうなると、現部員だけではとても処理できなくなるのは明白です。

総務部員となって活動していただける人、是非手をあげてください。切に祈っています。

### 外国語講座部

部長 松村 芳郎

昨年、日本語教室が主体の語学学習部から独立した外国語講座部は、今期から講座の数を増やして開講しています。

隣国の言語であり、根強い韓流人気に応えての韓国語講座は、今期から入門後満2年間の履修期間を修了された方々の熱望により、中級会話コースを新設しました。また、新たに受講を希望された皆さんによる入門コースも、5月7日から開講中です。

一方海外旅行先での会話をより充実したものにして頂こうと、昨年開講した、トラベル英会話は、火曜・木曜に各々楽しく勉強して頂いて参りました。こちらもこの春から、新メンバーの皆さんで、開講しています。また、トラベルを修了された方々は、新たに開講した日常英会話に進級し、旅先での会話とは違う場面での会話を楽しんでおられます。

外国人講師の方々も韓国語、トラベル英会話共に、難解で退屈な文法からは少し距離を置き、適宜場面を設定しての会話を中心とした講座を心がけ、楽しく学ぶことを大切に取組んでいます。

今後もこの姿勢を変えることなく、市民の皆さんにとって需要の高い言語の開講を検討して参りますので、宜しくお願い致します。

昨年、協会の10周年にあたり記念事業の一環として日本語学習支援ボランティア養成講座を開くことができました。

引き続き今年度も第2回目の日本語ボランティア養成講座を9月から11月にかけて開講することが決定しました。

2回の開講により、有能な人材が参加してくれるであろうと、今後の日本語教室は大いに期待できそうです。諸先輩の努力が実り、やっと日本語教室の土台が出来上がりつつあります。その土台を元に一步一步前進していきたいと思っております。

さて、昨年から今年にかけて通訳の依頼が3件ありました。少しずつ日本語教室の活動が認知されてきたのでしょうか。しかし1件は通訳できる該当者が居らず外部に依頼しました。

「です。ます」を使える学習者がいたらと思うと残念で私達の力不足を感じております。

正しい日本語である「です。ます」を使える学習者は活動する場が広がるということを実感いたしました。

又、学習者の家族からも日常会話は自然に覚えますから是非「です。ます」を使って話せる様にしてくださいとの要望もあり、我々も期待に応えられる様取り組んでいきたいと思っております。

今後の日本語学習部においてはまだまだ課題が多くあります。例えば学校支援や私達の手を必要としている人達にどんな方法で伝えることができるのか、広報のあり方等、いろいろ考えなければなりません。ボランティアの基本である「共に学び責任を持つ」ということを忘れずに、この1年間を日本語学習部全員でがんばりたいと思っております。

昨年度に引き続き今年度も友好交流部を担当させて頂くことに成りました。宜しくお願い申し上げます。

交流部では「国際理解教育」「サロン」「ホームステイ」を軸に活動を行って来ました。2011年度より小学校にも「英語教育」導入計画が予定され、小学校に支援させて頂いている「国際理解教育」の重要性を再認識させられる思いです。日頃外国人と触れ合う教育は、これからの児童達が世界に通じる若者として文化、環境を学び成育して行く事を期待しております。その為には、今迄以上に充実した「国際理解教育」に力を注ぎたく思っております。

昨年度末には「タイ王国サロン」を開催致しましたが、数多くの市民の方々にも参加頂き、国際交流協会の活動を認識頂き盛大なる中に終える事が出来ました。参加者の中には海外生活経験者、タイへ行かれた方々も参加され、これを機会に「世界の人々と交流を深めたい」と希望される方もいらっしゃいました。野田市内に居住される外国人の方も増えてきております。これ等の環境の中に、1人でも多くの外国人、市民の皆様と交流出来ればと今後のサロン計画を、実行していきたいと思っております。

又8月には「外国人留学生」を招きホームステイも計画しております。毎年留学生の希望者も増え、今回は7回目を迎え「ウエルカムパーティ」も計画いたしております。日本の家庭、家族の方々との交流も国際交流の大切なイベントです。

これ等を軸に活動を進めて行きたいと思っております。皆様の御協力宜しくお願い申し上げます。



- ◆ 協会案内 ◆ 私たちと一っしょに国際交流しましょう。どなたでも気軽に参加できます。お待ちしております。

【年会費】個人会員 2,000 円 家族会員 3,000 円(家族何人でも) 賛助会員(1口)10,000 円 学生会員 1,000 円

野田市国際交流協会 〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1 野田市役所 企画調整課内

TEL: 04-7123-1065

FAX: 04-7122-1557

URL: <http://www.nianoda.com>